

令和5年度食品ロス削減推進表彰 環境大臣賞受賞事業

事業名称

自治体・事業者連携による「mottECO（モッテコ）」導入、普及推進事業

実施主体： mottECO普及コンソーシアム2023



Hospitality Restaurant

Royal Host



THE TOKYO STATION



杉並区
SUGINAMI CITY



mottECO普及コンソーシアム2023とは



株式会社セブン&アイ・フードシステムズ
ロイヤルホールディングス株式会社
SRSホールディングス株式会社
株式会社アレフ

日本ホテル株式会社
株式会社京王プラザホテル

東京都杉並区

4つの飲食事業者、2つのホテル事業者、ひとつの自治体が、組織の枠を越えて連携し
食品ロス削減に取り組む、全国でも例のないアライアンス

mottECO事業を切り口に、「食べ残しをしない」「止むを得ず食べ残したものは、自分の
責任で持ち帰り、ごみにしない」という消費行動が当たり前の社会を目指す

環境省

「令和 5 年度食品廃棄ゼロエリア創出モデル事業等」 mottECO導入事業として採択

「食品ロス・食品廃棄物削減」という社会課題について、競合の垣根を超えた複数の事業者と自治体が連携し、mottECO普及を目的としたコンソーシアムを結成、mottECO導入と拡大を通じその解決を図る

mottECO普及コンソーシアム2023事業骨子

1.自治体＋事業者という連携スキームを活かしたmottECO**実践店舗の量的拡大**

- 1).杉並区はコンソーシアムが持つmottECO事業の情報、容器等のツールを活用し、域内の事業者等に対しmottECO導入、普及を図る。
- 2).各事業者はそれぞれのパイプと自治体の発信力を活かし、業種業態を超えた実践事業者の拡大を図る。

2. **既存の容器、ツールも有効活用したmottECO事業**としての、**食べ残し持ち帰り啓発の拡大**

他の事業者や自治体等が持つ既存のドギーバッグ等を有効活用し、コンソーシアムのノウハウやツールを活かした「mottECO」の名称、理念の普及。

EX.自前の容器で食べ残し持ち帰りに対応している**びっくりドンキー**では、注意喚起チラシ等のツール使用により、従来の対応を「mottECO」という名称で**発信していく**ことで社会への認知を促進する。

3. 継続的なmottECO推進事業者ならではの**発信による普及啓発事業**

- 1).自治体＋事業者という連携スキームを活かし、コンソーシアム発信のmottECO普及イベント等を開催する。
(**区主催のイベント、事業者向けセミナー等**への事業者登壇等)＋**コンソーシアム主催イベント**（後述）
- 2).教育機関やその他の組織、イベント等へ出向き、豊富な持ち帰り実績、実例、データ、消費者アンケート等の資料を活用した普及啓発活動を行う（自治体の持つ特性も活かす）。

事業実施店舗

事業者

7FS 「デニーズ」

RH 「ロイヤルホスト」

SRS 「和食さと」

アレフ 「びっくりドンキー」

NH 「東京ステーションホテル」「メズム東京、オートグラフ コレクション」
「メトロポリタンホテルズ」及びそのホテル内レストラン、宴会場

KPH 「京王プラザホテル」内の飲食施設等

において実証を行う

また各社運営及び関係する別ブランドの店舗においても実施拡大のテストを含めた検討を行う

自治体

杉並区 域内飲食事業者への「mottECO」紹介、啓発を行い「食品ロス削減月間」等の期間実施、実証実験も含め導入店舗の拡大を図る

事業の評価指標

定量面

- ・mottECO容器の使用量 = 食べ残し持ち归りの実行件数として把握
指数：「1日/店舗当たりの件数」
- ・mottECO容器使用当たりのみなし量（持ち归り食材の重量）を食品ロス（廃棄物）の削減量として評価（みなし量：直近サンプル調査及びアンケートより 250g/件）
指数：「期間当たりの削減量（重量kgまたはt）」
- ・参加事業者の実施店拡大状況
指数：実施店舗、施設数（店または箇所）
- ・コンソーシアムが企画実行したmottECO普及、食ロス削減の啓発発信、イベントの件数
指数：実施件数
- ・実態のある啓発、発信事業状況
指数：実施件数（補足資料として参加人数）

事業の評価指標

定性面

- ・自治体連携の強みを活かし、mottECO利用者に限定しない地域住民の食品ロスへの認識等を収集する（mottECOの認知度、容器有料化の可否等）
- ・WEBアンケートを活用し、消費者、利用者の期待、要望を広く収集する
- ・実施店舗での従業員インタビュー等により、実施サイドの意識調査も行う
⇒ これらは年度内であっても事業展開に反映させることで成果の向上につなげる
- ・啓発事業として講義、研修、イベント等で連携した教育機関、自治体等各団体に公式ポスター掲示、HP等への掲載を依頼し、「mottECO」の露出を向上させることでブランディング戦略の一助とする

積み上げた情報は、今後参加を検討する事業者、自治体へ生データとして共有していくことでmottECO普及拡大につなげていく

事業の定量成果

※令和5年3月～7月のmottECO利用実績を年換算、前述のみなし量250gを掛けて、年計削減量 69.2tを算出

※ホテル2社は、6月～9月15日まで休止

※杉並区は食ロス削減月間に合わせて、10月～12月での実証実験計画にレストラン平均値を掛けて算出

	1日件数/店	実施日数	店舗数	件/年	年間廃棄削減量
単位	件	日	店	件	
デニーズ	0.7	365	316	80,738	69.2 t
ロイヤルホスト	0.6	365	220	48,180	
和食さと	0.2	365	200	14,600	
びっくりドンキー	1.1	365	328	131,692	
レストラン小計/平均	0.7	365	1,064	275,210	
日本ホテル	0.1	258	9	232	
京王プラザホテル	0.1	258	2	52	
杉並区	0.7	92	20	1,288	
コンソーシアム計			1,095	276,782	

さらに普及拡大を図るため自主イベントを開催

～ 食べ残しをなくそう！ ～

食品ロス削減 「mottECO（モッテコ）」FESTA 2023



Hospitality Restaurant

Royal Host



THE TOKYO STATION



杉並区
SUGINAMI CITY

日時 : **2023年7月24日（月）** 11:00～14:00

会場 : ホテルメトロポリタンエドモント 2階 大宴会場（悠久・波光・薫風）

所在地 : 東京都千代田区飯田橋3-10-3（飯田橋駅・水道橋駅下車）

主催 : mottECO普及コンソーシアム2023

「mottECO (モッテコ)」 FESTA 2023 イベント会場1 (展示ブースホール)



多くのご来場者で
賑わうブース会場



日本ホテルブース



びっくりドンキーブース

- ・関係省庁、全国の自治体、企業、団体、大学等から32の出展
- ・人材交流、情報発信・交換の場となりました
- ・参加者250名計画に対して、300名以上、スタッフ参加も入れると400名以上のご来場をいただきました

「mottECO（モッテコ）」FESTA 2023 イベント会場2（パネルディスカッションホール）



・消費者庁、農林水産省、環境省及びコンソーシアムより4名登壇。
日本女子大学小林富雄教授のファシリテーションで、55分間、食ロス削減とmottECO普及についてディスカッション。会場から溢れた聴講者が通路で立ち見となるほどの盛況でした。



「mottECO（モッテコ）」 FESTA 2023 イベント会場3（もったいないメニュー試食会場）



①
国際雑穀年に合わせたメニューや各ホテルの「食品ロスを生まない」もったいないメニューが、数多く紹介され、試食していただきました。



②
参加者からレシピの質問もありました。



③
参加者には飲食業、ホテル業の方々も多く、熱心にレシピの確認をされたり、質問される風景が会場内のいたるところで見られました。

④
会場の一角には、mottECO体験として、実際に持ち帰り容器を用意し、ご自身で詰めてお持ち帰りいただくコーナーも設けました。